



福島県立二本松工業高等学校

同窓会 報

第17号

平成30年3月1日

発行所
福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937
福島県二本松市横戸1丁目58ノ2
TEL 0243-23-0960
FAX 0243-22-7388
発行者 秋山孝雄
印刷 株式会社丸井文社
発行部数 3,000部



校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集まる われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校
二新しく 時はめぐりて
安達太良に 白き雲湧く
ここ榎戸の 台地より見る
あの高きこそ われらが理想
眉あげん ともに
はげまなん ともに
大なる未来 ひたに望みて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校

C O N T E N T S

同窓会会長挨拶／学校長挨拶	2
輝く松工生!!／追悼の意	3
新会員のことば／進路状況	4
学校近況	5
同窓会だより	6
コラムリレー	7
母校だより	8

■松工Eメールアドレス
school@nihonmatsu-th.fcs.ed.jp

■松工ホームページアドレス
<http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp/>

同窓会会長挨拶



秋山 孝雄

プロフィール

昭和三十九年度機械科卒業
昭和四十年三月トヨタ自動車工業株式会社就職
昭和四十四年八月トヨタ自動車工業株式会社退職
昭和四十四年九月二本松市役所就職
平成十九年三月定年退職
平成十九年六月社団法人二本松法人会就職
平成二十三年五月退職
昭和六十年福島県野球連盟公認審判員 現在に至る
平成十六年五月松工野球部OB会設立 現在に至る
平成十九年七月行政書士資格取得 現在に至る

「チャレンジ」

早春の候、会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと存じます。日ごろより同窓会活動にご協力をいただきありがとうございます。

さて、本校が技術者養成を目的として昭和三十七年に開校してから早五十六年が経過しました。卒業生は一万一千四百五十四名を数え、国内外で活躍しています。今年も百三十八名の新会員を迎えることになり、誠に頼もしい限りです。

今年度も後輩たちが様々な資格取得にチャレンジしました。第一種電気工事士に一六名、情報処理技術者ITパスポートに四名、DDD三種に二名、二級土木施工管理技士に八名、国家技能検定（普通旋盤作業）二級と三級に二名ずつが合格しました。中には大学生でもなかなか取得できないものもあり、本当に見事な結果

です。指導された先生方、難関資格に果敢にチャレンジし、努力を積み重ねた生徒の皆さんにも温かい拍手を送りたいと思います。

また、部活動では、日ごろの努力の成果が実り、県大会で上位入賞し、東北大会、全国大会に出場を果たしました。同窓会では活動の一助となればと思い、激励金をお渡ししました。「鉄は、熱いうちに打て」という言葉があるように、若いうちから心身を鍛えることが肝要です。更なる松工発展のために同窓会をあげてご支援していきたいと思っています。

まもなく新年度を迎えます。在校生の皆さんは一学年上になり、卒業生の皆さんは就職先、進学先で新しい生活が始まります。不安はあるかもしれませんが、大きな「目標」を掲げ、勉学に、スポーツに、新生活に「チャレンジ」しようではありませんか。

学校長挨拶



高梨 哲夫

プロフィール

猪苗代町出身。専門教科は工業（機械）。趣味は、山歩き（山菜取り）と畑仕事等。平工業高校、小高工業高校、清陵情報高校、川俣高校、福島工業高校、再び川俣高校、郡山北工業高校、勿来工業高校に勤務し、平成二十七年四月に本校に着任し現在に至る。

お陰様をもちまして、本日、第五十四回卒業式を迎えることができ、新たに百三十八名の卒業生を送り出すことになりました。社会に出て何より支えになるのは、同窓生の皆様の存在であります。新社会人となる後輩たちに、温かいご支援をお願いいたします。また、本年度も同窓会より、東北・全国大会出場への激励や、様々な活動を通じて本校の教育環境の維持や向上に重要な役割を果たされておられますことに、心から感謝申し上げます。

学校の設備面では、体育館照明のLED化と床の全面張り替えを行い、また、グラウンドに埋設されていた汚染土の搬出工事が終了し、生徒の学習環境が整備されました。

さて、昨年の十一月末に、県立高等学校改革基本計画の素案が県教育委員会から示され、それを受け今年一月に教育公聴会が開催されて、本校からは生徒会長とPTA会長の二

人が選ばれ、県民の意見として発表してきました。今後の流れは、関係機関の意見を踏まえて、平成三十年代中に基本計画が策定される予定です。素案においての本校の置かれている立場は、「一・二学年三学級以下の高校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進」という箇所に該当します。まだ、はっきりと高校名は示されておりませんが、今後は地域企業をはじめ多方面の皆様方からのご意見を参考に、地域に根差した地域から愛される人材の育成に努めてまいりますので、ご協力とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会の皆様におかれましては本校の取り組みにご協力ならびに温かいご支援をお願いいたしますとともに、会員の方々の一層のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。

輝く松工生!!

全国での活躍

八月に愛知県名古屋市で行われた若年者のもづくり競技大会普通旋盤作業部門に三年一組の加藤寛大君が参加しました。例年行われる高校生ものづくりコンテストと違い四爪単動チャックを使用し、作業する大会です。技能五輪の予選会を含めた大会で非常に高度な加工技術が必要とする課題でした。



コンピュータ部が昨年十一月に埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティにて行われた第三十八回全国高校生プログラミングコンテストの本戦に三年振りに渡邊憲明、渡辺拓也、高橋智也、尾崎優太、佐藤光の五名が出場しました。第五位に入賞するなど松工生が全国という大舞台で活躍しています。



追悼の意



渡邊保夫先生の突然の訃報に接しまして、同窓会会員一同驚きと悲しみに打ち非がれております。先生は昭和四十四年より平成二十二年まで、四十二年間の長きに亘り教員として務められました。また、本校同窓会の事務局を務め本会の発展のためご尽力されました。退職後は同窓会副会長の要職に就かれ、本会ではなくてはならない存在の方でした。

先生は明るく元気で自分に厳しく、人には優しく、芯の強い方で、生徒達にも人望があり同窓会会員や後輩にも慕われておりました。また、退職後もサッカー協会・民生委員・福祉関係の要職を持ち多忙な日々を送っておりました。

先生とお別れするのは残念ですが、先生が、力を注いで頂きました本会を今後も全員で守っていきます。最後に二本松工業高校同窓会を代表して謹んで哀悼の意を表します。



応援歌碑建立の貢献で感謝状を授与



校内の応援歌碑の建立

新会員のみなさん

三年一組 高島愛弥

二本松工業高等学校は、地域に貢献する職業人となるため工業分野の知識と技術を学ぶ歴史と伝統ある学校です。県内外で多くの先輩方が活躍されており、地元企業から愛されている学校でもあります。私たち卒業生一同はそのような栄えある二本松工業高等学校の同窓生に第五十四期生として入会できますことを心よりうれしく、そしてとても誇りに思います。その名に恥じることなく多くの期待に沿えるようにそれぞれの進路先で邁進していきたいと思っています。

さて、思い起こせば三年前の私たちは、期待と不安の入り混じった複雑な思いを胸に入学式に臨みました。しかしクラスの友達とすぐに馴染むことができ、球技大会や陸上大会では一致団結して大成功を収めることができました。学習面では、それぞれの科に応じた技術を実習を通して磨き続け、多くの資格取得につながりました。三年生の課題研究でそれらの成果を存分に発揮することができました。

就職や進学と進む道は異なりますが、この二本松工業高等学校で学んだことを糧に社会人としてさらに成長できるよう努力していきたいと思っています。まだまだ未熟者で至らないところがある私たちですが、今後とも同窓生の皆様方の温かいご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

平成29年度 進路内定状況

(平成29年12月1日現在)

学 科	クラス	生徒数	就 職				進 学			未定
			県内	県外	公務員	縁故 自営	大学	短期 大学	専門 学校	
機械システム	3-1	34 (0)	24	2	0	0	5	0	3	0
	3-2	34 (1)	21(1)	5	2	1	2	1	2	0
情報システム	3-3	37 (15)	14(5)	9(4)	0	0	6(1)	1(1)	7(4)	0
都市システム	3-4	33 (2)	14(1)	4	2	0	6	0	7(1)	0
合 計		138 (18)	73(7)	20(4)	4	1	19(1)	2(1)	19(5)	0
※ () 内は女子の数			計				40(7)			0
			内定・合格率				100.0%			0%

就職 県内	
有限会社音楽プレス工業	株式会社光和設備工業所
有限会社飯田製作所福島工場	株式会社シンコー
NOKエラストマー株式会社東北事業所	株式会社須南電設
神奈川精機株式会社福島工場	株式会社高電
神田工業株式会社福島工場	テスコ株式会社
菅野建設工業株式会社	株式会社T T S
株式会社キタセキ	日東紡績株式会社福島工場
株式会社光大産業	日特エンジニアリング株式会社
株式会社佐藤組	福島キヤノン株式会社
三光化成株式会社福島工場	福島日産自動車株式会社
株式会社C K F	フクシマフーズ株式会社
シコー株式会社福島工場	北部通信工業株式会社
株式会社大地開発	株式会社菅田
株式会社田山型機二本松工場	南電設株式会社
テクノメタル株式会社	ムネカク株式会社
天昇電気工業株式会社福島工場	株式会社ヤクルト本社福島工場
東邦ゴム工業株式会社	株式会社石田工業所
有限会社東北工業	株式会社エイチワン郡山製作所
株式会社東北村田製作所	A G Cエレクトロニクス株式会社
株式会社東流社二本松物流センター	三立土建株式会社郡山支店
ナンシン精工株式会社	住化アグロ製造株式会社
株式会社野地組	東テック株式会社郡山営業所
福島サンケン株式会社	日東紡績株式会社富久山事業センター
株式会社福島芝浦電子	富士ダイス株式会社郡山製造所
北光金属株式会社岩代工場	株式会社星機械設計
ライオン菓子株式会社二本松工場	米沢電線株式会社
川俣精機株式会社	株式会社I H I 相馬事業所
北芝電機株式会社	いすゞ自動車東北株式会社
協三工業株式会社	(自営) 有限会社吉路電設
株式会社サンシン東北テック	

就職 県外	
株式会社N T T 東北-東北	株式会社京王設備サービス
仙建工業株式会社	東京電力パワーグリッド株式会社
一般財団法人東北電気保安協会	株式会社東ハト
東北電力株式会社	株式会社白洋舎東京支店
トヨタ自動車東日本株式会社	J F E スチール株式会社東日本製鉄所
東日本旅客鉄道株式会社	トビー工業株式会社綾瀬製造所
株式会社ユアテック	富士ソフト株式会社
株式会社ホンダテクノフォート	宮内建設株式会社
キヤノン電子株式会社秩父事業所	株式会社加藤建設
共立印刷株式会社	

大学・短大	
山形大学工学部情報エレクトロニクス学科	足利工業大学工学部建築土木分野
日本大学工学部機械工学科	日本工業大学基幹工学部電気電子通信工学科
日本大学工学部情報工学科	千葉工業大学工学部電気電子工学科
日本大学工学部土木工学科	仙台大学体育学部体育学科
日本大学工学部建築学科	福島学院大学短期大学部情報ビジネス科
東北学院大学工学部機械知能工学科	福島学院大学短期大学部食物栄養科
東北工業大学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科	

専門学校	
テクノアカデミー会津自動車整備科	国際医療看護福祉大学看護学科
テクノアカデミー会津電気配管設備科	JO-BI国際ビジネス公務員大学校調剤ビジネス科
Wiz国際情報工自動車学校情報システム工学科	福島介護福祉専門学校介護福祉科
国際アート&デザイン大学校CGマスター科	仙台リゾート&スポーツ専門学校スポーツトレーナー科
山形工科短期大学校住居環境科	日本外国語専門学校アジアヨーロッパ言語科
仙台工科専門学校環境土木工学科	日本調理技術専門学校調理師本科
東日本航空専門学校空港エンジニア科	郡山ヘアメイクカレッジスタイリストコース
日本電子専門学校ゲーム製作研究科	郡山理容学校理容科

公務員	
福島県職員土木職	航空自衛官候補生
陸上自衛官一般曹候補生	

検 定 試 験				
資格名		平成27年	平成28年	平成29年
実用英語検定	準2級	1	1	0
	3級	0	1	2
リスニング英語検定	1級	0	0	0
	2級	1	8	20
	3級	10	36	42
計算技術検定	1級			1
	2級	2	0	0
	3級	137	122	118
漢字能力検定	2級	0		
	準2級	3		
	3級	35		
	4級	19		
	5級	15		
情報技術検定	1級	3	0	
	2級	8	11	6
	3級	37	22	26
実用数学検定	準2級	0	1	0
	3級	0	2	1
基礎製図検定		35	28	44
機械製図検定		35	33	26
測量技術検定	1級	34	30	24
	2級	29	41	45
パソコン利用技術検定	1級			2
	2級	0	1	1
	3級	94	78	61

平成29年度福島県高等学校代表学校選抜大会
男子団体戦 1回戦×松1.1(2)代表-1(2)安積黎明
2回戦×松1.0(1.0)-3(3.5)聖光学院
ベスト16

◆バスケットボール
平成29年度福島県高等学校体育大会バスケットボール競技東北地区予選会
男子個人 予選敗退
男子団体 予選敗退
平成29年度福島県高等学校体育大会バスケットボール競技
男子個人 予選敗退 安積黎明
男子個人 予選敗退 聖光学院
平成29年度福島県高等学校体育大会バスケットボール競技「少年の部」東北地区予選会
男子個人 予選敗退
男子団体 予選敗退
平成29年度福島県高等学校体育大会バスケットボール競技東北地区予選会
男子個人 予選敗退 聖光学院
男子団体 予選敗退 聖光学院
平成29年度福島県高等学校体育大会バスケットボール競技
男子個人 予選敗退 聖光学院
男子個人 予選敗退 伊藤和弘

◆カヌー
第69回福島県総合体育大会カヌー競技会兼第29回福島県カヌー競技選手権大会
C-1 第1位 水本勇士
第2位 渋谷 亮、竹山郁造
第3位 水本勇士、水本勇志
第4位 三浦水海
C-2 第1位 渋谷 亮、竹山郁造
C-4 第1位 水本勇士、水本勇志、渋谷 亮、水本勇士
平成29年度第2回東北高等学校カヌー選手権大会
C-1 第1位 水本勇士
C-2 第6位 渋谷 亮、竹山郁造
C-4 第5位 三浦水海、竹山郁造、渋谷 亮、水本勇士
第44回東北総合体育大会
C-1 第1位 水本勇士
C-2 第3位 水本勇士、竹山郁造
平成29年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技
C-1 500m 第7位 水本勇士
C-2 準決勝敗退 渋谷 亮、竹山郁造
準決勝敗退 三浦水海、竹山郁造、渋谷 亮、水本勇士
第25回福島県高等学校体育大会カヌー選手権大会
C-1 第1位 三浦水海
第2位 伊藤佑佑
第3位 佐々木空良
C-2 第1位 佐々木空良、伊藤佑佑
平成29年度国民体育大会カヌー競技
男子男子カナディアンシングル 水本勇士 500m、200m
準決勝敗退
平成29年度第8回東北高等学校カヌー選手権大会
C-1 予選敗退 伊藤佑佑、三浦水海
C-2 第5位 佐々木空良、伊藤佑佑

◆バドミントン
平成29年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技東北地区予選会
男子団体戦 第2位 武蔵大誠、佐久間康大
ダブルス ベスト8 大河原剛二、武蔵大誠
シングルス 第3位 武蔵大誠
ベスト8 佐久間康大
平成29年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技
男子団体戦 敗戦
男子シングルス 敗退
平成29年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技東北地区予選会
ダブルス 第2位 武蔵大誠、佐久間康大
ベスト16 大河原剛二、武蔵大誠
男子シングルス 第3位 8 佐久間康大 ベスト16 浅草玲音
男子シングルス 第3位 8 佐久間康大 ベスト16 武蔵大誠
平成29年度福島県総合体育大会バドミントン競技
ダブルス 2回戦敗退 佐久間康大
シングルス 2回戦敗退 武蔵大誠
シングルス 2回戦敗退 武蔵大誠
平成29年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技東北地区予選会
男子団体戦 2回戦敗退 敗者復活(県大会出場)
ダブルス 第3位 武蔵大誠、佐久間康大
シングルス 第3位 加藤淳彦、嵯谷楓
シングルス 第3位 佐久間康大
平成29年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技
男子団体戦 敗退(青葉川陽高校)
ダブルス 2回戦敗退 加藤淳彦、嵯谷楓
シングルス 2回戦敗退 佐久間康大
シングルス 3回戦敗退 武蔵大誠

◆コンピュータ
第35回コンピュータ校生プログラミングコンテスト
C-2次予選 第13位
第15回全国高等学校バドミントンコンテスト甲子園2017
同開催地 第22位(642チーム中)

同窓会 だより

■ 総 会 報 告 ■

平成二十九年年度福島県立二本松工業高等学校同窓会総会が、平成二十九年七月二十二日（土）二本松市「パレスかねすい」にて、佐藤忠司前会長、高梨哲夫校長はじめ三十名の出席のもと開催されました。議長に鈴木朝裕氏（昭和五十七年度土木科卒）が指名され、終始和やかなムードの中、円滑な議事進行がされました。

高梨校長の挨拶では、各激励金の贈呈についての御礼を述べてから、クラス数の減らびに在校生の活躍について紹介があり、資格取得や部活動、ものづくり大会などにおいて好成績を挙げ

ていること、また同窓生のご尽力のお蔭で進路内定率が百パーセントを維持していることなどの話がありました。来賓として参加いただいた佐藤忠司前会長からも挨拶をいただきました。

次に議事に入り、第一号議案 平成二十八年年度事業報告、第二号議案 平成二十八年年度決算報告並びに会計監査報告、第三号議案 平成二十九年年度事業計画、第四号議案 平成二十九年年度予算は全て原案通り可決されました。その他、会報委員会から他校の同窓会報についての企業広告などの紹介があり、本校同窓会報の今後の在り方についての話題提供もありました。

総会後の懇親会では、二十八名の参加をいただき、各会員の近況報告などで盛り上がりながら時間いっぱい親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができました。今後も職場の先輩後輩、あるいは友人同士で声を掛け合い、是非多数の同窓生のご参加をお願いするところでございます。



■ 平成28・29年度同窓会役員 ■

役職	氏名	卒業年度	科
会長	秋山孝雄	S39	機械
副会長	丹治茂雄	S40	機械B
〃	渡邊保夫	S41	土木
〃	大内正人	S44	電気
〃	菊地清義	S44	電気
〃	熊谷勝則	S49	土木
会計	高橋薫	S49	機械
監事	山川博徳	S55	土木
〃	鈴木新栄	S57	機械
〃	小沢源太郎	S60	土木
事務局次長	高橋周平	H6	電子
理事	斎藤喜市	S41	土木
〃	星光	S42	機械
〃	尾形巳芳	S47	電気
〃	本田正	S47	土木
〃	星盛秋	S48	土木
〃	嶋原彰	S49	機械
〃	橋本正一	S51	土木
〃	高橋道夫	S53	機械
〃	安斎邦衛	S54	機械
〃	清水実	S57	電子
〃	尾形浩美	S58	機械
〃	加藤高洋	S59	土木
〃	金子智弘	S60	土木
〃	朝倉雅人	H6	土木
〃	二階堂卓也	H12	機械
〃	菅野健太	H12	機械
〃	鈴木朝裕	S57	土木
〃	佐藤幸好	H9	土木
〃	菅野雅利	H9	土木
〃	石川清徳	H10	土木

会報委員会

会報委員長	大内正人
副委員長	斎藤喜市
委員	高橋道夫
委員	菅野健太
委員	鈴木新栄
委員	高橋周平
委員	佐藤信彰（事務局）
委員	芳賀一夫（事務局）

役員選考委員会

役員選考委員長	丹治茂雄
副委員長	菊地清義
委員	高橋周平
委員	星光
委員	安斎邦衛
委員	鈴木正美（事務局）
委員	小形義元（事務局）

事務局

事務局長	鈴木正美
事務局	甲賀豊光
事務局	佐藤信彰
事務局	芳賀一夫
事務局	小形義元

■ 平成28年度 同窓会収支決算書 ■

収入額合計	1,353,012円
支出額合計	1,206,202円
残 額	146,810円

収入の部 合計 1,293,106 円

科 目	28年度 予算額	28年度 決算額	増 減 額	備 考
会 費	660,000	650,000	△ 10,000	130人×5,000円
入 会 金	304,000	306,000	2,000	152名・転入1名
雑 収 入	51	2,003	1,952	預金利息等
借 入 金	0	100,000	100,000	事業積立金より
繰 越 金	295,009	295,009	0	
計	1,259,060	1,353,012	93,952	

支出の部 合計 円

科 目	28年度 予算額	28年度 決算額	残 額	備考
会 議 費	170,000	179,830	△ 9,830	役員会、同窓会総会
行 事 費	25,000	20,520	4,480	入会式
通 信 費	33,000	34,782	△ 1,782	ハガキ、切手
会 報 費	170,000	144,072	△ 25,928	会報発行
慶 弔 費	15,000	5,000	△ 10,000	香典、その他
記念品費	150,000	119,812	△ 30,188	卒業記念品
後 援 費	350,000	329,181	△ 20,819	激励金、広告、くろがね祭
事 業 費	250,000	181,486	△ 68,514	会報発送等
事業積立金	0	100,000	△ 100,000	事業積立金返済金
事 務 費	75,000	65,519	9,481	データ入力費・事務用品
会金返金	0	26,000	△ 26,000	退会13名
予 備 費	21,060	0	△ 21,060	
計	1,259,060	1,206,202	52,858	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長にはかり各科目間において流用することが出来る。

同窓生コラムリレー

「大切なのは今」

菅野建設工業株式会社
山川 博徳

松工の土木科を卒業し、早いもので、三十七年が過ぎようとしています。だんだん老後の年金の心配をする歳になって参りました。高校時代は私の人生の中で、最高な3年間であったと感じています。決してお世辞にも優等生などとは言えない生徒でありましたが、私にとっては毎日が楽しい日々でした。

特に「製図」と「測量」は大好きで、特に製図は友達の間で手伝っていたくらいです（内緒）

お陰様で全国製図コンテストでも銀賞を受賞させて頂きました。また、「測量」もアウトドア授業が多かったので、楽しく授業を受け、国家資格の「測量士補」を取得する事が出来ました。

でも、それ以外は？と言うと興味がなく「駄目」でした。そんなこんなであつという間に時間が経過し、現在私は、菅野建設工業株式会社で会社経営に当たっています。弊社社員の最大の学園は、松工で、次が日本大学です。それぐらい毎年松工から優秀な生徒を推薦していただき入社していただいております。

よく言われる事ですが、「今の自分

を作り上げたのは過去の自分である。」と、そして何か嫌な事があると「自分

はついていない」「環境が悪いからだ。」と外的要因を言いますが、最終的に意志決定して来たのは自分自身なのです。私は、人生は未来から色々な選択肢が流れて来て、「今」をどのように受け止め判断するかで、過去の自分も変わると思っています。だから「今が大切」です。例えば「田中角栄」は内閣総理大臣になったので、過去の人生の評価も変わったと思います。

私も残された今後の人生、今を大事に生涯学習も視野に入れ、仕事も趣味も精一杯頑張っていきたいと思います。在校生も卒業生の皆さんも松工の卒業生としてのプライドを持って、今を大事に、そして悔いのない人生を謳歌しましょう。

結びに福島県立二本松工業高等学校同窓会の更なる発展を心よりお祈り申し上げ、私からの拙いひとり言（コラム）とさせて頂きます。

プロフィール

◇昭和五十五年 土木科卒業（十七期生）

◇平成三年 菅野建設工業株式会社入社

現在、取締役副社長として会社経営に当たっております。

◇二本松工業高等学校同窓会 監事を拝命中

「社会人として」

柳沼プレス工業株式会社
菊地 優汰

私は、柳沼プレス工業株式会社製造部に勤めています。高校卒業と同時に入社したので四年が経ちました。この四年で、高校時代の勉強が活かされていること、また社会人として必要だと感じていることがあります。

まず、高校時代の経験を活かしていると感ずることは、やはり専門分野の授業や実習で学んだことです。私は今、社内でも複数の機械を扱っていますが、このように多種の機械を扱えるのは、高校時代に学んだ機械の知識や技術が大変役立っているからだと思っています。

次に、社会人として必要だと感じたことですが、二つあります。まず一つ目は、コミュニケーションです。社会に出ると様々な方と接することが多くなります。場に応じた言葉遣いや話し方をしなければいけないため、最初は戸惑いがあるかもしれませんが、私も入社してはなかなかうまくできませんでしたが、社内であるべく話すことを意識するようになったら、自然と身につけることができました。会社だけでは、やはりコミュニケーション能力には、やはりコミュニケーション能力は必要だと感じます。二つ目は、目標を必ず一つ作る事です。私は社会人一年目の

とき「一日でも早く仕事を覚えること」を目標にしました。そのために、先輩や上司に教えてもらったことを忘れないようにメモを取り、一日でも早く覚えようと思いました。とにかく必死でした。その甲斐あって、今では複数の機械を任せてもらえるようにまでなりました。あのとき立てた目標が今に繋がっていると感じます。

これから社会人になる後輩の皆さん。社会人になるにあたり、不安はあると思います。仕事でも、私生活でも何でもいいので、一年間の目標を一つ作ってみてください。その目標に向かって必死に頑張り、自信を持って取り組んでいけば、不安も徐々に解消されていくと思います。私もまだ社会人四年目です。後輩の皆さんに負けず、よう、努力を惜しまず、初心を忘れず、高校時代学んできたことを活かし、これから日々精進していきたいと思っています。

プロフィール

◇出身地 大玉村

◇趣味 スノーボード、ボルダリング、音楽映画鑑賞

◇所属していた部活 弓道部（部長をやっていました）

※主な経歴

東日本大会出場（団体）

東日本大会予選会1位（団体）

新人戦県大会3位（団体）

二本松市民弓道大会1位（個人）

弓道式段取得

激励金贈呈



カヌー部 平成29年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技
第20回東北高等学校カヌースプリント選手権大会
ボウリング 第44回東北総合体育大会ボウリング競技
第40回全日本高校ボウリング選手権大会



機械システム科 若年者ものづくり競技大会
情報システム科 高等学校ものづくりコンテスト2017
都市システム科 東北大会（電気工事部門）
高等学校ものづくりコンテスト2017
東北大会（測量部門）



カヌー部 第72回国民体育大会カヌー競技
第8回東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会



コンピュータ部 第38回全国高等学校プログラミングコンテスト大会

競技写真



ものづくりコンテスト
(測量)



ものづくりコンテスト
(電気工事)



若年者ものづくり



コンピュータ部



カヌー部



ボウリング

会報委員長 大内正人
副委員長 齋藤喜市
委員 高橋道夫、菅野健太
鈴木新栄、高橋周平
事務局 佐藤信彰、芳賀一夫

今年の「くろがね」祭にOBとして凱旋講演をお願いしたヤクルト陸上部の高宮選手の現況はどうだろうか。マラソン大会、駅伝大会に出場され安定した成績を残しているようだ。無理せず、けがに注意して、頑張っほしいと思う。松工OBみんなで熱い応援を！

この高揚したまま筆を進めるならば「さあ、次はいよいよ東京オリンピックです」「私たちの番です」となるだろう。この大事業に携わる松工OBも少なからず居られるはず！

熱いエールを送りたい。世界中に日本の技術技能系の力を堂々と魅せてやってほしいと思う。

冬のオリンピックはつい三日前、感動の閉会式で終了したばかり、時差のない韓国での開催でしたが、深夜までつづく競技に寝不足の方もおられたのではないのでしょうか。日本選手の活躍にあためて拍手を送りたいと思う。また、実業高校の立場としては、スケートリンクのメンテナンスからスキーモーグルの。こぶ。造りまで、まことにスリリングなまでの高度な技術技能を魅せてくれた陸人に、感謝と大きな拍手を送りたいと思う。

編集後記